

すこやか 9 月号

第 199 号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA



特集
FEATURE

骨粗しょう症と骨密度 ～新たな骨密度測定装置を導入～



副院長
角田 雅也

- 日本整形外科学会専門医
- 日本整形外科学会認定
脊椎脊髄病医
- 日本整形外科学会運動器
リハビリテーション医
- 義肢装具等適合判定医師

大腿骨近位部(足の付け根部分)を一度に直接測定でき、より正確な診断が可能です。また、検査結果をデータ化して、視覚的に表示できます(図)。検査は、検査台に仰向けに寝た状態で約10分で終わります。また、被曝線量は、胸部X線撮影よりも少なく、患者さんの負担を軽減します。



(写真) 新導入の骨密度測定装置

骨粗しょう症について

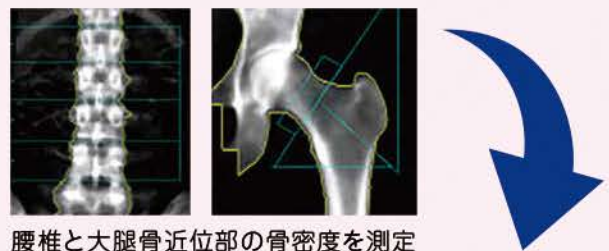
骨粗しょう症は、骨がスカスカでもろくなり、骨折しやすくなる病気です。わが国においては、急速な高齢化に伴い、患者は年々増加し、およそ1300万人が罹患していると推測されます。また、50歳以上の女性の3人に1人は骨粗しょう症患者とされています。

腰が曲がってきた、腰が痛い、背が縮んだなどの症状を感じる方は、骨粗しょう症が原因かも知れません。早めの検査で骨の健康状態を把握することが大切です。

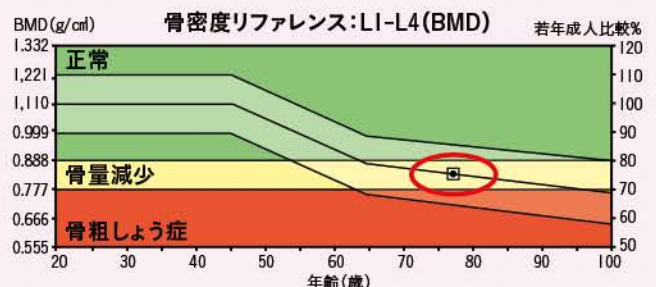
新たな骨密度測定装置の導入

骨密度測定は、骨に含まれるカルシウムなどの成分量を測定する検査で、骨粗しょう症診断の重要なポイントになります。また、骨量の減少を早期に発見し、適切な予防や治療を行うことができます。

この度、当院で新たに導入した骨密度測定装置(写真)は、日本骨粗しょう症学会のガイドラインで推奨される精度の優れた方法を採用しています。この検査法は、骨折しやすい腰椎(背骨の腰に近い部分)と



腰椎と大腿骨近位部の骨密度を測定



(図) 結果を図示(赤丸内の点が測定値)

GEヘルスケア・ジャパン(株)提供資料をもとに作成

医師からのメッセージ

日々の診療に励む医師から、「すこやか」読者の皆さんへのメッセージをお届けします。



かわさぎ だいじ
柏木 大嗣

- 診療科 循環器内科
- 専門分野 循環器全般、
虚血性心疾患

message

平成28年から当院で勤務しております。一般内科疾患を初め、循環器救急の分野でも地域の方々が安心して生活いただけるように頑張っています。当院では24時間体制で循環器疾患の受け入れを行っておりますので、どんな些細な症状でもご相談ください。



かわさぎ ひでゆき
川崎 英之

- 診療科 整形外科
- 専門分野 外傷、関節リウマチ
- 資格 日本整形外科学会専門医

message

整形外科では地域の開業医の先生方と連携し、骨折や脱臼などの外傷手術を数多く行っております。また、変形性股関節症や変形性膝関節症に対する人工関節置換術の手術も、関節センターを設置し、率先して行っております。慢性的な膝痛や股関節痛にお悩みの方は、手術方法や入院期間の相談受診にも対応しますのでお気軽に受診ください。

薬の形について

薬剤科(診療技術部次長) 櫻井 美由紀

錠剤、カプセル、粉薬、塗り薬、座薬、注射薬など、薬にはいろいろな形があります。薬の形を「剤形」と言い、以下のように、用途や目的に合った形に工夫されて作られています。

1 飲みやすくする

錠剤をコーティングして苦味をなくしたり、甘いシロップ剤にして子どもに飲みやすくします。

2 使いやすくする

錠剤は、持ち運びやすく長期保管ができます。水なしで飲める錠剤もあります。粉薬は量の調節がしやすく、子どもの年齢や体重に合わせることができます。

3 効果が早くあられるようにする

注射薬は飲み薬よりも効果が早くあられます。

4 効果が長く続くようにする

錠剤には、段階的に溶けていくことで効果が長く続くように工夫されたものもあります。

早く効かせようとカプセルを割ったり、錠剤が大きすぎるからと砕いたりすると、薬の効果がなくなったり、副作用が出ることもあります。複数の剤形をもつ薬もあるので、飲みにくい、使いにくいときは医師、薬剤師にご相談ください。



近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう!



長谷川内科医院 長谷川 正樹 院長

ウッディタウンのあかしあ台で、平成10年に大野内科クリニックを継承し、今日に至っています。開業後も内科医療は進歩し、私が特に専門とする糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症(痛風)などの代謝疾患の分野も各種の新薬が登場しました。しかし、それらの病気も、放置したり、油断するとさまざまな合併症が出てきます。最近では、がんや認知症も合併症に加わりました。放置したり、軽視せずに治療する努力が必要です。

当院では、三田市民病院、兵庫中央病院、済生会兵庫県病院、神大病院、阪大病院、その他の病院と連携をとり、精査が必要な時や、ご本人の要望に応じて、紹介させていただいています。今後も、来院される皆様の健康維持のお役に立てるよう努力いたします。



〒669-1323 三田市あかしあ台1-52-1
 電話 079-565-1465
 診察科目 内科、糖尿病内科、消化器内科、
 リハビリテーション科
 休診日 木曜・日曜・祝日、土曜日の午後

診療時間	午前 9:00~12:00		午後 4:00~6:00			
	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	○	○	○	×	○	×



新任医師紹介

Introduction of new physician

当院では7・8月より新しく医師を迎えました。
 より一層日々の診療に力を入れてまいります。



脳神経外科

お か だ た か し
 医長 岡田 崇志

出身地 兵庫県

趣味 競馬、
 アメリカンフットボール

7月より脳神経外科医として赴任しました、岡田と申します。脳神経外科医として皆様のお役に立てるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



皮膚科

た け うち せい じ
 医長 竹内 聖二

出身地 宮崎県

趣味 食べ歩き、映画鑑賞、
 スポーツ観戦

本年8月に皮膚科に赴任してまいりました。三田市及びその周辺にお住まいの方々のため、皮膚科医として、優しく丁寧に、よりよい医療を提供していきたいと考えています。何卒よろしくお願いいたします。

編集後記

今年も暑かった夏が過ぎ、秋がやってまいりました。秋といえば、皆さんは「何の秋」でしょうか? スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、色々な秋があると思います。いずれの秋であっても、皆さんにとって良い秋となりますようお願いいたします。

すこやか(第199号)
 平成29年9月発行

【編集・発行】
 三田市民病院
 学術広報推進委員会



三田市民病院

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
 TEL.079-565-8000 (代表)
<http://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>